

# 第1回 湘南地区高齢者福祉研究大会・研修会 開催報告書

報告者 今井

開催日時 令和7年3月18日（火） 13：30～16：30

開催場所 平塚プレジール

大会主催 湘南地区高齢者福祉施設連絡会

連絡会 会長 水島（つちや福祉会）

本大会実行委員長 渡辺（研水会）

司会進行・データ管理 飯田（真幸会）

受付・タイムキーパー 小笠原（寿考会）

会計 石井（つちや福祉会）

進行補助・冊子制作等 今井（研水会）

本大会・研修会参加施設数 / 人数（主催者含）

研究大会エントリー施設 9施設/31名

研修会参加施設 5施設/13名 計 44名

## 本大会・研修会の目的

- ・湘南地区の施設における日々の取り組みについての学びを合う場とする
- ・福祉の魅力ややりがいを共有し、地域における活動につなげていく
- ・かながわ高齢協主催・高齢者福祉研究大会（本大会）への選考大会として開催する

## 本大会プログラム

別紙参照

## 本大会の成果

- ・予定通りエントリー9施設、研修準備含め発表に於いてトラブルはなかった
- ・初の試みではあったが、参加者の学ぶ姿勢が顕著伺えた（施設間コミュニケーションも盛んだった）
- ・採点基準を事前共有し、投票がスムーズに行え地区選考作品を選出できた

## 今後の課題と改善点

- ・会場が狭く、余裕がない席の配置であった（もう少し当日出席者が増えたら対応できなかった）
- ・エントリー施設が「事前PCチェック」できる時間が必要だった（自動スライド設定等のチェック）
- ・飲み物の提供がコーヒーだけで飲めない方の数人いた
- ・受付は事前に施設ごとの準備（パンフとシール人数分セット）しておくとスムーズだった
- ・PC担当が発表者付近で待機しておけば進行時間短縮につながる
- ・研修会としての発信が乏しかったため、次回は発信方法を検討する必要がある
- ・介護研究を通して、自施設における課題を見出すことができていた施設が多かった
- ・意見交換や質疑応答の時間がなかった。次回開催時はプログラム構成を見直し検討していく
- ・開催時期を確定し、早めの開催案内を出しエントリー施設が増えるのではないか

## 湘南地区高齢者福祉大会

### 研修参加者リスト

1	高根台ホーム	<input type="radio"/>	
2	カメリア	<input type="radio"/>	
3	万田デイサービス		
4	サンレジデンス湘南	<input type="radio"/>	
5	サンステージ湘南		
6	平塚特別養護老人ホーム	<input type="radio"/>	
7	あしたば		
8	つちやホーム		
9	ローズヒル東八幡		
10	ローズヒルケアセンター	<input type="radio"/>	
11	二宮寿考園	<input type="radio"/>	
12	平塚養護老人ホーム	<input type="radio"/>	
13	ういすたりあ	<input type="radio"/>	
14	ローズヒル	<input type="radio"/>	

研修参加 5 施設/13

エントリー 9 施設/31

## 湘南地区高齢者福祉研究大会プログラム

1) 開会のあいさつ 13:45~

相南地区福祉施設連絡会 会長 水島圭一

2) 1部 研究発表 13:50~

※発表は10分・交代5分で予定しています

	施設名	演題（テーマ）	発表者
①	平塚養護老人ホーム	実践的なICTと他職種連携	生活相談員朝倉 介護主任 小林
②	ローズヒル	介護施設（短期入所）の営業戦略 ～ショート稼働アップに取り組んで見えたこと～	生活相談員 古家
③	カメリア桜が丘	足浴効果で不眠解消	介護 石倉
④	二宮寿考園	認知症ケア/尿汚染の対応（ルーティン化）	生活相談員 熊澤
⑤	ういすたりあ	デイサービス利用中の余暇活動について	D・S管理者 大島

3) 休憩 10分

4) 2部 研究発表 15:15~

	施設名	演題（テーマ）	発表者
⑥	高根台ホーム	入所者様とともに非常災害を考えていく	介護課 海内・小林
⑦	ローズヒルケアセンター	「当たり前のサービスを止めない」感染症対策	生活相談員 小永井
⑧	サンレジデンス湘南	施設情報の発信について ～ホームページの運用スタート～	統括MJ 今井 木村・勝山
⑨	平塚特別養護老人ホーム	ショートステイご利用者の情報共有を 向上する取り組みについて	ケアワーカー 永野・石橋

5) 投票・休憩 15分

6) 結果発表 16:30~

7) 閉会のあいさつ 16:40~

研究大会実行委員長 渡辺友則

## 第1回 湘南地区高齢者福祉研究大会を開催しました。

湘南地区福祉施設連絡会では、はじめての試みとして  
福祉の学びを深めていくため高齢者福祉研究大会を開催いたしました。  
市内9施設が、自由なテーマで様々な介護研究に取り組み、  
その取り組みの成果発表を聞く、とても貴重な時間となりました。  
この研究大会は、7月に行われる神奈川高齢協主催の  
高齢者福祉研究大会への選考会を兼ねておりました。  
投票により、今年度は「高根台ホーム」の演題が選ばれ、  
湘南地区の代表として、頑張ってきていただきたいと思います。  
お忙しい中、多数のご参加ありがとうございました。



高根台ホーム介護課 海内さん・小林さん 最優秀賞おめでとうございます♪

非常災害をテーマにご利用者さまを含めて防災活動をした取り組みの発表でした。

